

零れるは

泡沫の雪下

R-18

ADULT ONLY



どんなカタチでも
この瞬間に流れている二人の時間は
ワタシにとって大切な刻



この"お話"について - About this story -

本書はオリジナル創作『夢詠みのリフレクション』より派生した成人向け本です。
夢詠みのリフレクションを読んでいなくても単体で読める内容となっていますのでご安心下さい。
世界観に触れたい方は合わせて読んで頂けると繋がりが垣間見えてお話に入り込めるかと思います。

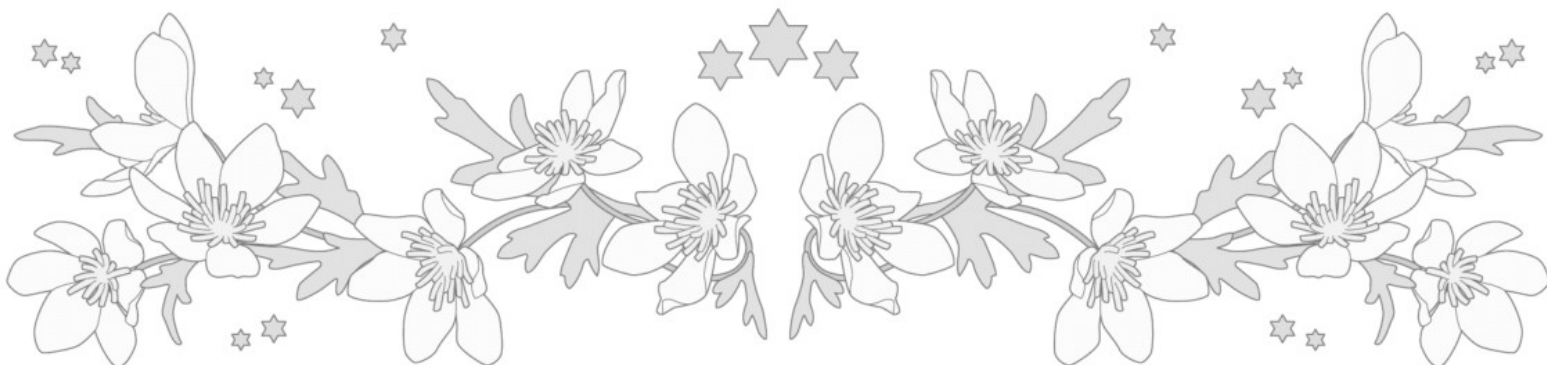
備忘録 - memorandum -

『メランゼラ』

獣の耳と尻尾が生えている人を示す言葉。
全体の数は多くなく、いつの時代から存在しているのか定かではない。
生まれたときから持つ耳と尻尾は遺伝説や奇病説など様々な物があるが詳しいことは不明である。

『保護者』

その名の通り”メランゼラを保護する者”を示す。
通常、メランゼラには一人の保護者が付く。保護者になるには特定の条件を満たす必要がある。



『人と同じ容姿だが
獣の耳と尻尾が
生えている』

この世界にはごく少数そのような
『メランゼラ』と呼ばれる人が
存在しています

カ
チャ

ああ
おかえり

ただいま
帰りました…

わたしも
その一人です

くれば
紅玻

『メランゼラ』には
原則一人の『保護者』が付きます

雪降り出したけど
寒くなかった？

だ……
大丈夫です

迎えに行けたら
良かったんだけど

この方は私の保護者
——
樟さん

用事が終わったのが
ついさっきだね

あの……

カチッ

良い反応

『お願い』守って
くれたんだね？

あっ

んっ

ちゃんと図書館にも
寄ってから帰ってきました

は……はい

図書館には誰か
居た？

いえ……
今日は誰も

そっか
それは残念

ズク

ふにゃ？！



紅玻
こっちに――

ああ……その前に
スカートを持ち上げて
見せてよ

はい……

彼がわたしの保護者になったのは
ほんの数ヶ月前

せっかく紅玻がそんな
素敵な姿をしたのに
誰も居なかったのは
残念だな……

こんな事をする関係では
ない筈なのに――

樟さん……

わたし……

本当に……求めても
良いの……？

紅玻 おいで
ご褒美をあげよう





ずっと…
疼いて仕方がないの…

はあ

はあ

うん
よく出来ました

ふあ

外すよ

びう

ぬる



ふーやア

ぞく

ん？
ちよつとの刺激で
軽くイッちゃった？

樟さんの欲しい…



ふふ
このままもう少し
触ってでもいいけど…

ん

こっちを
あげないとね



んっ
指…じゃ…なっ

あ



あ…
ちが…

ひあ

んっ

こんなに濡れてるのに
嘘は良くないかな

すっ



はー

ドキ

はー

ドキ

ドキ

はあ

はあ



ずる...

はー

おや
疲れてしまったかな？

気持ち
よかった...

ぽすっ

でもこの感覚に
慣れてしまうと...

紅璃は
満足したようだけど

私はまだ
物足りないかな





変な感じなのに
気持ちがいい……っ



あぁ

こ……
これダメ……っ

あん

いん

お尻の中にも
振動が……



どう？
新しい刺激は

ぱん♡ちゃん

ぱん

ぱん

ひあ

ま……っ
動かないでっ



ふあ

いい感じに
締め付けてくるね

きに入った？



あん

はあ

あ♡

はあ

偉さ……わたし

またイツちゃう……!!

ぱん

ふるん

ぱん

あぁ

ふる

うん
今度は私も一緒に

ぱん



ほら
出すよっ

あ♡

ひゅ
ゆるっ

ひゅ
とんっ

の♡
あ♡
あ♡

ひゅ
とんっ

ひゅ
とん

♡
ひゅ
とん

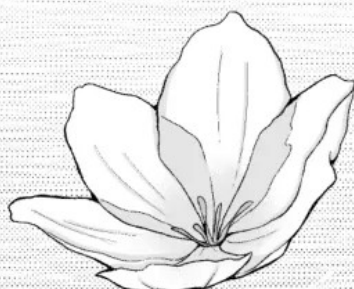
ぶ
ぶ
ぶ

メランゼラを保護する
資格を得た『保護者』



メランゼラと
伴に生きる――

保護者になるには
『適正』が必要となるそうです。



あとがき - postscript -

この本を手にとってくださった方こんばんは、宵月ましろです。

今回は3人目のメランゼラの子『紅玻(くれは)』のお話をお届けです。

ひとまず本文を仕上げて言えることは髪の毛のトーンが思った以上に大変だった…と…
私の描く子は比較的髪の毛がもふもふしやすいのですが(ふわふわの猫っぽさ出したいので)
そこにトーンが合わさってもうこれ収集つかないよ！となりながら塗り塗りとして作業をしました。
制服と合わさって普段の倍の勢いで塗ってしまったので完成した本の仕上がりに見て
次にこの子のお話を描く機会が来た際には全体的に若干の調整を入れるかもしれません、その際はご了承下さい。
樟(とばり)さんの髪型もなかなか難しいです。
不思議なグラデのかかり方をしてるのですが…何この髪の毛難しい組は…!!(設定したのは7分。)

あと今回ネーム終わって下描きしてる途中で久しぶりに高熱を出してダウンしてしまい、
治りが悪くて2週間も寝込んでしまいました…。
後から見直すとちょっとえっちの内容に練りが足りなかった(ご主人さま～のお話に似てるような…)。
気がするのですが多めに見て頂けると幸いです(汗)

紅玻のお話で書きたいのはメランゼラの『保護者』についてですね。
今回ページ数の関係でほんの触り程度の内容でしたが、
ここまででメランゼラって家族とかどうなってるの？と思われた方も少なくは無いと思っております。
冒頭からいきなり『メランゼラには原則一人の～』ってあれ夢リフの天音は…？
と、そこは追々。

夢リフからスタートして徐々にサイドも合わせてお話が増えてきていますが、
個々での登場人物は固定であり増えません。
基本的には『保護者』である人物と『メランゼラ』の子のお話が続いていく感じです。
浅く深くお話を紡いでいきたい方針。
すべて読んで世界観に浸って頂けるのもよし、お気に入りの子のお話を読んでいくのもよし、
気になるお話だけ読んで頂けるのもよしと
"沢山の本が並んでいる本棚の中から気になる本を手にとって読んでみた"
スタンスを続けていければと思っております。

それではまた次のお話でお逢いできれば嬉しいです。

2020.02 宵月ましろ

PixivFANBOX活動中です！
創作の小話や原稿のちら見せなどなど



◆発行日
2020年02月09日
COMITIA131

◆発行
わたあめのしずく / 宵月ましろ
Twitter : mashironeco3
Mail : mashironeco3@gmail.com
blog : <http://mashiro-game.blog.jp/>

◆印刷所
株式会社明光社 STARBOOKS 様

この物語はフィクションです。
実在の人物や出来事などとは一切関係ありません。

無断転載・複写・転売・Webへのアップロードを禁じます。
18歳未満の閲覧はご遠慮下さい。

マシュマロへのQRコードです。
感想をお待ちしております♪



